

## 現状と課題

- 訪都外国人旅行者、都内在留外国人の増加に伴う外国人患者の増加
- 軽症の外国人患者の大学病院等への受診や救急搬送が多い
- ⇒外国人患者が症状に応じて安心して医療機関を受診できる環境整備が必要

- 外国人患者受入医療機関の整備
  - 医療情報等の効果的な提供
  - 地域における受入環境整備
- を推進する必要

## これまでの取組

### 1 医療機関の整備

- (1)JMIP受審費用等への補助(H28～)
- (2)外国人患者受入体制整備補助(院内資料やHPの多言語化等 H29～)
- (3)医療機関向け救急通訳サービス(英・中・韓・タイ・スペイン・仏)
- (4)外国人患者対応支援研修(H28～)

### 2 外国人患者への医療情報の提供

- (1)外国人患者向け医療情報サービス (英・中・韓・タイ・スペイン)  
外国語対応可能な都内医療機関や日本の医療制度等を相談員が案内
- (2)医療機関案内サービス「ひまわり」Webサイトによる情報提供(英・中・韓)  
外国語対応可能な都内医療機関情報を提供

## 新規取組：地域における受入環境整備

### (1)外国人患者への医療等に関する協議会

医療機関や関係団体、観光・宿泊施設等による会議体を設置し、連携強化を図り、外国人への医療提供に係る取組を促進

#### 【連携促進のための具体的支援】

#### ① 医療機関の実態把握と情報共有(医療機関リストの作成)

- ・都が、医療機能情報提供制度を活用し、各医療機関の外国人対応力を調査
- ・外国人患者対応可能な医療機関リストを作成し、情報共有を図る。

#### ② 宿泊施設等関係機関向けマニュアルの作成

都が、宿泊施設等のヒアリング等により、外国人患者から相談があった場合の対応マニュアル作成

### (2)地域の実情に応じた外国人患者受入環境整備事業 (H30モデル実施、H31検証)

#### ① 外国人患者受入れ体制の構築についての連絡会議

地域の関係者(医療機関・関係団体・区市町村・宿泊施設・薬局等)の意見交換や、情報・課題の共有を通じて連携強化を図り、地域の実状に応じた外国人患者の受入れに関する取組を進める。

#### ② 地域における外国人患者の受入環境の整備

- 連絡会議において、以下の役割分担や地域における連携について整理する。
- ・関係機関：適切な医療機関等への外国人患者の紹介
  - ・中小病院・診療所：主に軽症・中等症対応。自院で対応できない場合、適切な医療機関を紹介
  - ・大病院：主に重症対応。中小病院等からの受入要請への対応など後方支援

#### 【今後の方向】

モデル事業を検証のうえ、協議会等を通じて以下の取組を行い、関係機関、医療機関の対応力の向上及び地域の実状に応じた外国人患者受入環境の整備を図る。

- ①関係機関向けマニュアルの周知
- ②医療機関リストの提供
- ③地域における取組をモデル例として提供

## 地域の取組 イメージ図

